



2025・9・16

<展覧会 開催のお知らせ>

UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）は、運営母体であるあいおいニッセイ同和損保のメセナ活動として、学生はもとより、卒業後作家としてのキャリアをスタートした若手の支援を行っています。今回は、武蔵野美術大学大学院を2025年3月に修了し本格的に作家として歩み始めた小河彩乃と藤本恭子の二人による展示をご覧ください。

■展覧会概要

タイトル	『from the misty forest』 小河彩乃×藤本恭子 2人展
会期	2025年11月1日（土）～ 11月23日（日） 11:00 ～ 19:00（月曜定休・最終日 17:00 まで）【入場無料】
会場	UNPEL GALLERY 東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F
参加作家	小河彩乃（おがわ あやの）、藤本恭子（ふじもと きょうこ）
展覧会内容	本展は、武蔵野美術大学で学部・大学院の6年間、日本画を学んだ二人による展示です。2025年3月に大学院を修了し、学生としての時間を終えた私たちが、これから「日本画」とどう向き合い、作家としてどう生きていくのかを考えながら、日々制作している今の姿を、学生時代の過去作品とともにご覧頂けますと幸いです。 展示タイトル「from the misty forest（霧の森から）」は、「暗がりから牛」ということわざをヒントに名付けました。これは、動きがゆっくりで目立たない様子を表す言葉で、私たち自身の姿とも重なるように感じ、以前から活動の際に使ってきた言葉です。 今回はそこから一歩進めて、私たちが創り出す“霧の森”のような世界、その中で曖昧ながらも確かに存在している私たち自身や、美術や絵画の中での「日本画」というジャンルの在り方を見つめなおす機会としました。 静かで、どこか揺らぎのある空間を感じていただけたら嬉しく存じます。 作品はそれぞれ 100～50 号を 3～4 点、30～0 号を 10 点程度を展示予定です。
主催	小河彩乃、藤本恭子
企画	UNPEL GALLERY

<ご連絡・お問い合わせ先>

ギャラリーオフィス 11:00～19:00 月曜定休（担当 / 井上・渡邊）

E-mail / tsubaki@unpel.gallery <https://unpel.gallery/>

TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781 * お問い合わせは E-mail にてお願いします

■作家プロフィール

小河 彩乃(おがわ あやの)

神奈川県出身

2023 年 武蔵野美術大学造形学部日本画学科 卒業

2025 年 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻

日本画コース修士課程 修了

2023 年 神山財団芸術支援プログラム第 10 期生

第 8 回石本正日本画大賞展 奨励賞

2024 年 2024 年度武蔵野美術大学卒業・修了制作日本画学科 優秀賞

【コメント】

自分の視界を通して見る風景、そこにある人が介在したであろう形跡たちを、自身の心象と掛け合わせて制作をしています。固有の風景ではない何処かを作品という形で他者と共有することで、新たな風景が見えてくるときがあります。



「cut into thirds」

2023 年制作

1650× 1650 mm

パネル、和紙、岩絵具、顔料

藤本 恭子(ふじもと きょうこ)

山口県出身

2023 年 武蔵野美術大学造形学部日本画学科 卒業

2025 年 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻

日本画コース修士課程 修了

2023 年 2022 年度 武蔵野美術大学 卒業・修了制作 優秀賞

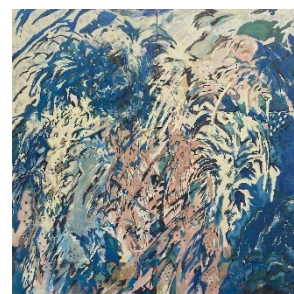
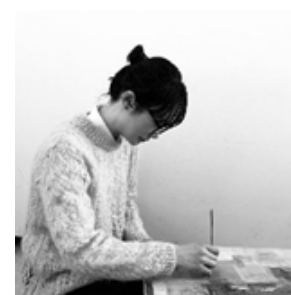
2024 年 グループ展「ワ展」武蔵野美術大学日本画学科卒業生 5 人展

(UNPEL GALLERY)

2025 年 個展「果実はまるいビームをつつんでいる」(フリュウ・ギャラリー)

【コメント】

心体と植物、空間それらが相互作用することで生まれる循環を探求しています。



「循環」

2022 年制作

1800× 1800 mm

パネル、和紙、岩絵具、水干絵具